



May 29-June 2, 2018 • Minneapolis, Minnesota USA

65th ACSM 参加報告

報告者：生命環境科学系 博士課程 3年 大田崇央

この度「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2018年5月29日-6月2日にアメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリスで行われたAmerican College of Sports Medicine(ACSM) Annual Meetingに参加し研究発表を行った。



本学会はスポーツ医学に関する学会の中でも世界有数の規模の大会であり、そのため大会期間中に行われた講演やシンポジウムは著名な先生方が多数、連日登壇され、大変貴重な成果や報告を聞くことができた。

私は学会2日目にポスター発表を行った。発表テーマは「**Cardiorespiratory fitness and the incidence of dyslipidemia: A cohort study among Japanese women**」で、日本人女性における全身持久力と脂質異常症の罹患率との関連を調べた研究である。今大会のプレジデント講演でも度々強調されていたように、運動不足が世界的に蔓延しており、その結果生活習慣病罹患や死亡率の増加が多数報告されてきている。本研究においても例外なく、運動習慣の指標とされる全身持久力が高く、かつBMIが標準値を示す集団は脂質異常症の罹患率が低くなる可能性を示した。同様に全身持久力を用いた研究をしている海外の研究者からの質問もあり、積極的な議論が出来た。

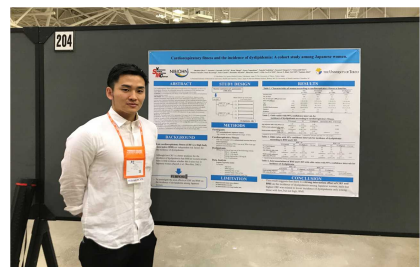


写真 2 報告者

今回5日間の学会において様々な発表を見聞きし、さらにディスカッション出来たことは、今後の更なる研究活動の中でも大きな財産となるだろう。

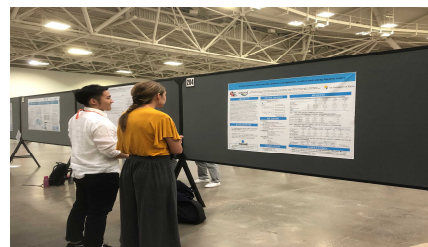


写真 3 発表の様子